

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに合わせたオーダーメイド療育	個別療育は、お子様の成長や変化に気づきやすい環境にあると思います。 成功体験の積み重ねが、お子様の自己肯定感や意欲の向上に繋がるよう、関わり方を心がけています。	一人ひとりの特性を理解し、それぞれにあった目標設定をしていく。スモールステップを意識し、達成感を味わえるようにする。
2	保護者との密なコミュニケーション	事業所に足を運んでいただくことで、スタッフと顔を合わす機会も増え、相談や情報共有をしやすいという声をいただいています。 また、自由に活動を見学いただくこともできますので、ご本人との関わり方や、成長と一緒に共有いただけます。	短時間であってもお子様の様子をしっかりと伝えつつ、寄り添う姿勢を忘れないこと。支援見学等を通してご家庭でできることを伝えていく。
3	専門性に加え、自己肯定感向上を大切にしたい関わり	事業所内に児童生徒が作った作品、新聞などの掲示物を工夫をしている。直接関わりのない者同士でも、作品を通じてスタッフも子どもたちも関わられることを大事にしている。	利用者の許可も取り、個人が特定されないよう配慮し、SNSでの発信をすることで通所のイメージがわかりやすいようにしていく。様々な特性、得手不得手に関係なく児童生徒が自分たちの参加ができるような活動を考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流の場が少ないこと	送迎がなく、保護者が迎えに来るので設定しやすい環境は作りやすいが、療育時間も1時間で短いので機会を設けにくい。	児童発達支援事業と同じで教室運営の年間スケジュールなどに組み込む工夫が必要である。特に要望として進路、就労に向けた話が互いにできたらという声もある。
2	個室が少ない	個室の方が利用児童の特性上のあっているが、活動のペースが十分ではないこと。机や椅子を置くと課題が限られてしまうこと。	利用時間の調整をはかる。具体的には個室環境を作るために、パーティションなどで区切る調整をしていく。
3	防災訓練実施状況、マニュアル等の存在があまり周知されていない	防災訓練は毎月実施しておりますが、個別支援という形態より全児童が参加しての避難訓練が実施されておらず、参加者が限られてしまっています。 マニュアル類では、特に安全計画について契約時での説明にとどまっている。	契約時の説明に加え、教室内掲示などの工夫を行っていく。防災訓練時もポスターを掲示するなどしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数

38

回収数

31

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1  こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	9	0	0	・駐車スペースが少ない時がある ・やや狭さは感じる	・どうしても夕方時の入れ替え時は待ってもらうこととなります。 ・夕方はご利用する方も多く、環境が固定化されないようには しています。ただ、他の利用者の保育内容によって個室になったりす ることもありますが、個室ばかりにならないよう輪番制にしたりし ています。
	2  職員の配置数は適切であると思いますか。	29	2	0	0		
	3  生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	3	1	0	玄関先でいつも担当の先生が分かるのは 良い。	自分の名札に自分で名前を書き、所属意 識を高められる工夫をしています。
	4  生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1	0	1	・いつもきれいで過ごしやすい。 ・活動内容によってパーテーションを 使っている。	いつも来ても快適に過ごせるよう努めま す。
適切 な支 援の 提供	5  こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	29	1	1	0		一人ひとりに応じた支援が提供できるよ うに努めます。
	6  事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	26	5	0	1		今年度中に公表する予定をしています。
	7  こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	30	0	1	0		日々ニーズが変化することに対して適切 にその都度対応してもらっている。
	8  放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	30	0	1	0		特に家族支援においてはより力を入れ 行っています。また、本人支援につい ては子育てサポートを力を入れ、保護者様 のサポートをしています。
	9  放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	0		・日々ニーズが変化することに対して適切に その都度対応してもらっている。
	10  事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	28	3	0	0	本児の興味を引き出せるよう工夫しても らっている	継続して、子どもの特性や実態に即した支援 内容を提供し、様々なアプローチ方法で療育 内容の工夫を図っていく。
	11  放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	10	1	15	5		今年度は児童館との連携という点で訪問 はした。必要があれば対応していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12  事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		契約時や見学時に説明をしています。
	13  「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	31	0	0	0		モニタリングやアセスメントを行い計画 を作成しています。
	14  事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	21	3	3	4		児童発達支援事業に比べ少ないため、要 望等を聞きながら計画していきたい。
	15  日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	30	0	1	0	毎回、丁寧にヒアリングしていただい ています。	療育後のFBに加え、家庭での様子など聞 きながらお話をさせて頂いている。
	16  定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	3	0	1		毎回のFBを丁寧に行っております。FB以 外にもご希望があれば相談の時間を作っ ております。
	17  事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1	0	1		傾聴、寄り添うことを大切に開くこと 意識しております。
	18  父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3	6	4		実施自体は少ないが、小集団療育の中で 今後も定期的に行っていきたい。必要に 応じてあれば発達支援研究所などと連携 して検討していきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	1	1	相談させてもらったことはいつもすぐに対応してくれたり、調べたりとさせていただきますりと大変感謝しております。	引き続き、対応の整備に努めてまいります。利用者様がいつでも安心して相談できる体制作りにも努めていく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	1	0	こまめなやり取りで安心している。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	3	3		鍵付き書庫等を用いて厳重な管理しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	1	0	0		ホームページ等でもアップはしているが、教室内掲示やLINEでの情報発信が主である。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	3	0	6		掲示するなど周知・回覧できる環境を考えていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	3	1	7		月に一回以上災害を想定した訓練に取り組んでいる。年に数回、利用児童にも参加してもらい、万が一に備えている。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	0	0	3		契約時に説明はしているが、掲示や周知などはまだまだ十分ではないので対策に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	0	4		契約時を含め、塾保険などの説明を行っています。また小さいケガでも当日や翌日には状態を聞くようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	1	0		引き続き、安心して通所していただけるように努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	2	0	1		・本児に状況に合わせて丁寧行き戻りして学習の定着に協力してもらっている。 ・いつもありがとうございます（2名）。 ・本人だけでなく家族が満足している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	1	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」近江八幡駅前校第2				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		支援グッズ等は収納し、パーテーションを用いてお子様に合わせた環境になるよう工夫しています。	トイレの環境改善は必要である。ステップや補助トイレなどの整備も検討していく必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃・消毒・整理・整頓の徹底を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個室は1部屋しかないが、プレイルームをパーテーションで区切る、状況に応じて静養室の利用等も可能です。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に各指導員との業務上の目標設定と振り返りの機会、また校舎改善のための意見聴取を行っております。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へのアンケートを実施し、業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		校舎内で話しやすい環境を作るとともに、ソフトウェアを通じて上役にも連絡を取りやすいようになっております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、利用者・社内の二者評価をとっております。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが必要に応じて実施を検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		初任者研修を実施し、その後も全ての職員に対し継続的に（月1～2回程度）社内研修を行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		今年度中にHPにアップ予定です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにモニタリング・アセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画は指導員の意見を確認しつつ原案を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画はソフトウェア上で共有されており、目標や計画に沿った支援を行うよう取り組んでいます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用しています。1年に1回アセスメントを取る ことにより1年間の成長を評価しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		モニタリングやアセスメントをもとに、優先順位をつけ複数の項目を組み合わせ個別支援計画を策定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		基本的に個別支援であるため、支援計画に基づき、担当指導員を中心に立案させていただいております。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援後のフィードバック時に保護者様の要望を確認したり、支援時の様子に合わせてより良いプログラムになるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育を柱に、不定期で 集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日のスケジュールや動き確認は行っており、集団活動実施の際には事前の打ち合わせ、リハーサル等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼は行っていませんが、朝礼にて職員間での情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回指導記録をとり、適時見直すことで、お子様の成長に合わせて指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		計画期間（6ヵ月）ごとにモニタリングを通して面談を行い、達成度と課題を導き出し、新たな目標とともに個別支援計画を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」が求めることを踏まえたくらいで、支援プログラムを立てています。地域交流については、行うことはできておりませんが、それに資するような支援内容に取り組んでおります。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個別支援であることを活かし、子どもが思いを伝えやすいことに加え、子どもの要望やコンディションに合わせて柔軟に対応できる体制を整えている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要な会議には日程等調整し、ご利用者様の担当指導員や児童発達支援管理責任者が参加をしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、情報共有できるよう取り組んでおります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要性や保護者様からのご要望に応じて、関係諸機関との連携をとっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			現在行っておりませんが、必要に応じてそうした機会を設けていきたいと考えております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			地域交流については、限られた指導時間の中で実施が難しく行えていません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば 支援計画に 位置付けた上で実施いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後にフィードバックの時間を設け、保護者様と情報共有できる体制を整えています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		フィードバック時に日常でのサポートについてお話をさせていただいています。また当社内外にて実施している研修会や勉強会について情報提供を行っています。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定、利用者負担等について、契約時に説明しています。支援内容については、個別支援計画の提示時の説明に加え、毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に保護者様の現在のご要望を聞き取るようにしております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画は支援内容とねらいについて説明し、保護者の方から同意を得ております。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主にフィードバック時に相談に応じております。また、悩みや相談がある場合は別途お時間をとり対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付窓口を設けて必要に応じて対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		室内提示スペースにて活動内容やイベントのご案内等を提示しています。またインスタなどでも公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定するなど、適切な対応を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様・保護者様の状況に応じて、視覚的情報やデバイスなどを活用して、齟齬のないやり取りを心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域向けのイベント等は行っておりません。要望があれば、常時施設の見学や事業所の説明等の対応はしております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、定期的に研修や訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、上記通り定期的に研修や訓練を実施しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		初回面談時や契約時に全てのお子様に対して服薬の有無や病歴を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		当事業所では基本的に支援中の食事・おやつ提供はしていません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、事業所内で定期的に研修や訓練を行い、安全な環境下で支援に入っているよう取り組んでいます。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを策定、虐待防止委員会を設置して、研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		マニュアルを策定、身体拘束適正化委員会を設置して、研修を実施しています。身体拘束が必要となる場面が想定されるご利用者様については、保護者様とご相談の上、具体的内容を個別支援計画の特記事項に記載します（現在身体拘束が必要となるお子様はおりません）。		